民生委員・児童委員推薦候補者報告書

記載例

　○○自治会長　　　■■　■■

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな | 　もりやま　　たろう |
| 氏　　名 | 　守山　　太郎 |
| 生年月日 | 　昭和　３５年　　　９月　　１日生　　（　　６５歳） |
| 性　　別 | 男　　　　・　　　　女　　（どちらかに○） |
| 住　　所 | 　守山市　○○町１２３番地４ |
| 在住年数 | ３４年（現住所へ居住してからの年数） |
| 電話番号 | 　　　０７７　　―　　５８２　　―　○○○○ |
| 職　　業 | （該当するものに○）社会福祉事業従事者、宗教家および宗教教師（　　　　）医師および歯科医師、その他医療保健業、弁護士、教育者、農業、自営業、会社員、公務員、無職、その他（　　　　） |
| 民生委員・児童委員としての在職年数 | 　元職　・　再任　・　新任　（どれかに○）　令和元年 12月 １日から令和７年 11月 30日まで　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計　６年　０月 |
| 経歴大要 | 　自治会役員 |
| 現公職および役職 | 　民生委員・児童委員 |
| 社会福祉に対する理解と熱意および人柄、性格、地域住民の信望度等 | 　自治会役員の経験があり、地域の実情をよく知るだけでなく、責任感が強く、自治会各種活動の推進において機動力を発揮されている。また、地域のボランティア活動（○○サロン等）にも積極的に参加され、社会福祉への理解と熱意があり、信望も厚い。 |
| 民生委員在職中の活動実績（再任の場合） | 　高齢者や乳幼児宅への訪問や生活困窮者への相談など積極的に活動している。また、町内福祉部会のリーダーとして活躍している。 |
| 担当世帯数および担当地区(町・字） | 担当世帯数：　256世帯／512世帯 |
| 担当地区：　○○町 |
| ※推薦候補者が年齢基準超過の場合の推薦理由 | 　※推薦候補者が75歳以上の場合のみ、この欄に推薦理由を記入してください。 |

※裏面の【記入上の留意点】をご確認のうえ、記入してください。

【記入上の留意点】

　この推薦候補者報告書は、すべて委嘱日時点（2025(令和７)年12月１日時点）で記入してください。

１　「年齢」は、委嘱日時点での年齢を記入してください。

　(例) 年齢：昭和35年９月１日生まれ　⇒65歳

２　「在住年数」は、現住所へ居住してからの年数を記入してください。

　(例)平成３年６月１日に■町へ転居（現住所地）　　⇒34年

３　「経歴大要」は、現在までの公職・役職等の大要を記入し、「現公職・役職」は、現在就任中の公職・役職を記入してください。また、自治会長、自治会役員、小学校ＰＴＡ会長、福祉協力員など、地域において役員等をされた場合も記入してください。

４　「担当世帯数」および「担当地区」は、委嘱日以降、本人が担当する予定の世帯数、担当地区（町・字）を記入してください。

なお、民生委員の担当世帯数が不明の場合は、全世帯数を民生委員数で割った数とするなど、概算で記入してください。

５　「職業欄」は、次の職業名から選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| ・社会福祉事業従事者 | ・農業 |
| ・宗教家および宗教教師（（ ）書きで○○寺住職等を付記） | ・自営業 |
| ・会社員 |
| ・医師および歯科医師 | ・公務員 |
| ・その他医療保健業 | ・無職 |
| ・弁護士 | ・その他（その他の場合は、( )書きで具体的に記入） |
| ・教育者 |

６　年齢については、民生委員・児童委員は、できる限り75歳未満（主任児童委員は、できる限り65歳未満）を選任するよう努めることとされています。

ただし、地域の実情等を踏まえ、「社会福祉に対する理解と熱意がある」、「地域の実情に精通している」、「今後も積極的な活動が行える」等という方であれば、健康状態等に留意する中、年齢基準を超えても推薦することは可能とされています。

このため、年齢基準を超過した方を推薦される場合には、その推薦理由を記入してください。